



2026 秋 号

No. 135

～ 特 集 ～ 【河川整備による地域のこれまでとこれからのかたち】

・ 福井県

「吉野瀬川ダム竣工」について

・ 奈良県

一級河川町並川で進む県内初の地下バイパス河川

・ 神戸市

北区淡河町浦川の親水空間整備と多自然川づくり

～ トピックス ～

・ 京都府

鴨川探検！再発見！

第78弾「鴨川の生きもの観察&水質調査」を開催しました！！

～ きんきのダム巡り～

・ 近畿地方整備局

足羽川ダム

～ インフォメーション～

・ 滋賀県

「滋賀けんせつみらいフェスタ2026」を開催します！！



2 北山川(北山村)

和歌山県 県土整備部 河川下水道局 河川課 ……

①

特集

『河川整備による地域のこれまでとこれからのかたち』

3 「吉野瀬川ダム竣工」について

福井県 土木部 河川課

……

②

5 一級河川町並川で進む県内初の地下バイパス河川

奈良県 県土マネジメント部 河川整備課

……

③

7 北区淡河町浦川の親水空間整備と多自然川づくり

神戸市 建設局 森林・防災部 河川課

……

④

トピックス

9 鴨川探検!再発見!

第78弾「鴨川の生きものの観察&水質調査」を開催しました!!

京都府 河川課

……

⑤

きんきのダム巡り

10 足羽川ダム

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所

……

⑥

インフォメーション

11 「滋賀けんせつみらいフェスタ2026」を開催します!!

滋賀県 県土整備部 技術管理課

……

⑦



どろきょう
瀬峡の紅葉（北山川）

北山川（きたやまがわ）

北山川は、日本有数の降雨量を誇る奈良県の大台ヶ原を源流とし、三重県や和歌山県の飛地である北山村を流れ熊野川に合流する一級河川です。流域では古くから林業が盛んであり、その木材搬出技術を受け継いだ「北山川観光筏下り」が毎年5月から9月に運航されています。日本で唯一、筏師が丸太を組んで造った筏による川下りを楽しむことができ、北山川の歴史や文化を肌で感じることができます。

秋になると、渓谷は鮮やかな紅葉に包まれます。北山川流域に広がる瀬峡では、国の特別名勝・天然記念物に指定された「瀬八丁」の雄大な渓谷美が広がり、訪れる人々を魅了します。

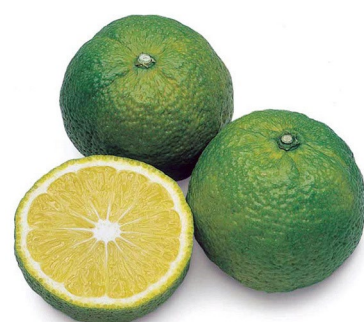
また、北山川流域の北山村では、特産品である希少な柑橘「じゃばら」の栽培が盛んに行われており、紅葉の季節には爽やかな香りを放つ果実が収穫の最盛期を迎えるなど、秋ならではの魅力を楽しむことができます。



※図中 A ～ G は記事の位置を示しています。



北山川観光筏下り



北山村の特産品「じゃばら」
（出典：北山村観光サイト）

よしのせがわ

「吉野瀬川ダム竣工」について

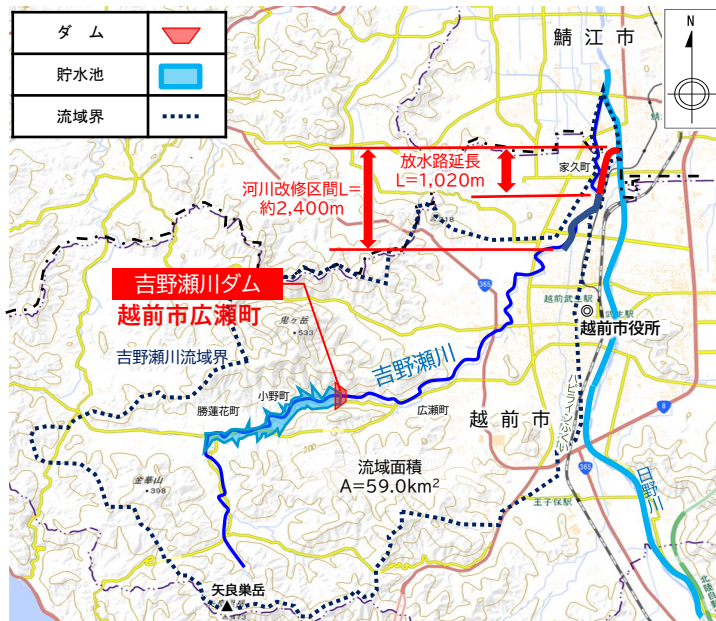
福井県 土木部 河川課

○ 吉野瀬川河川整備の概要

吉野瀬川は、越前市や鯖江市の市街地を流下し日野川に合流する流域面積59km²、流路延長18.3kmの一級河川です。吉野瀬川流域では、台風や梅雨豪雨などにより、たびたび家屋や農地が浸水被害を受けており、流域の安全、安心に向けて、上流のダム建設と下流の河川改修を一体的に整備することで流域全体の治水安全度向上を目指します。

○ 吉野瀬川ダムについて

吉野瀬川ダムは、九頭竜川水系一級河川吉野瀬川上流の越前市広瀬町に、洪水被害の軽減等を目的として福井県が建設した治水ダムです。昭和61年の実施計画調査着手以降、40年という長い歳月をかけ、このたび完成し、6月16日から供用を開始しました。



吉野瀬川ダム完成 (全景)



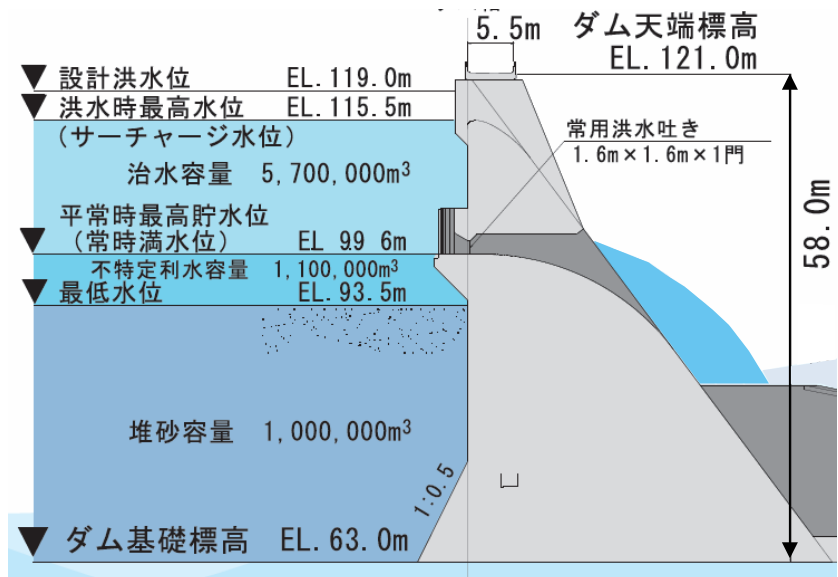
○ ダムおよび貯水池の諸元

(1) ダムの諸元

位置：福井県越前市広瀬町
形式：重力式コンクリートダム
堤高：58.0m
堤頂長：190.0m
堤体積：137,170m³

(2) 貯水池

総貯水容量：7,800,000m³
有効貯水容量：6,800,000m³
常時満水位：EL. 99.60m
サーチャージ水位：EL. 115.50m

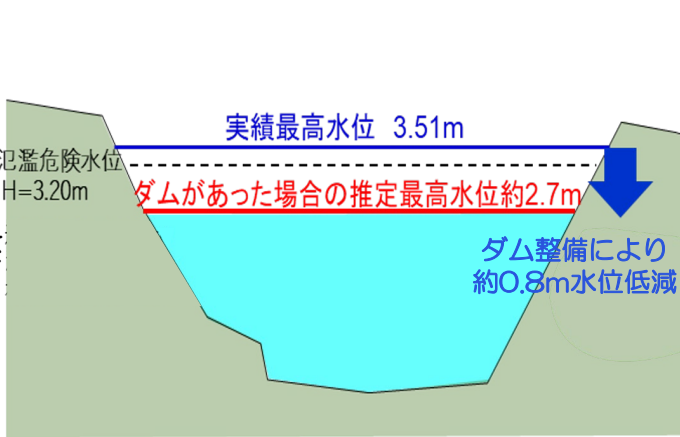


○ダムの完成による効果

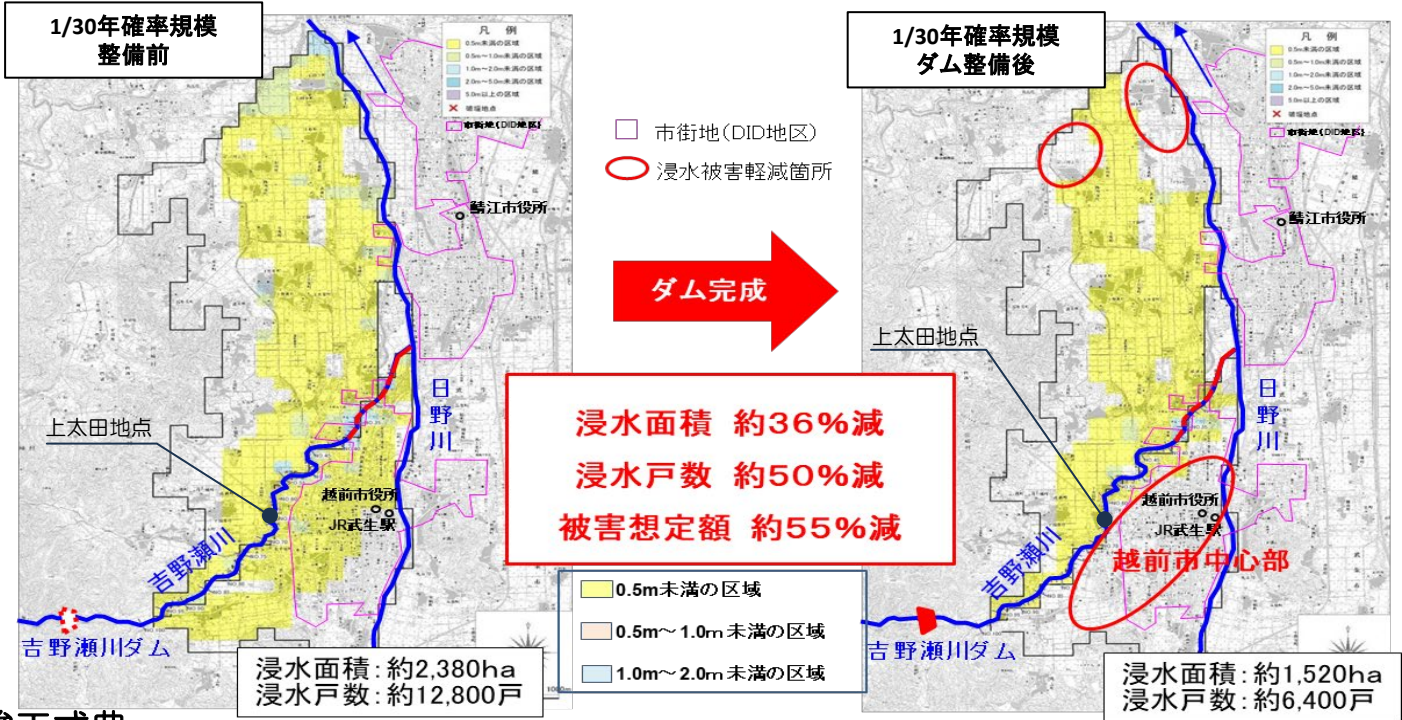
令和6年6月の大雨では、一部で水位が氾濫危険水位3.2mを越える約3.5mに上昇。流域の9,930世帯24,552人に避難指示が発令されました。

吉野瀬川ダムが完成していた場合は、上太田地点において約80cm水位を下げる効果があると推定され、避難指示の発令を回避できたと考えられます。

また、本ダムの完成により、30年に1回程度の大雨に対して浸水戸数が半減するなど、越前市中心部をはじめとする流域の被害を軽減することができます。



吉野瀬川上太田地点のダム効果（推定）



○ 竣工式典

令和8年6月7日（日）に、吉野瀬川ダム建設・河川改修促進協議会主催による竣工式典が執り行われました。式典には、福井県知事をはじめ、越前市長、鯖江市長、国会議員、国土交通省技監、近畿地方整備局長、地元関係者、施工関係者ら合計約200名が出席し、出席者からは、「ダムの完成により地域が洪水被害から守られる。今後は観光資源としての活用も。」など、感謝のお言葉やご意見をいただきました。



福井県知事の挨拶



テープカット

○ おわりに

事業の完成にご尽力いただいた全ての皆様に深く感謝の意を表するとともに、本ダムの竣工により、越前市中心部をはじめとする流域全体の治水安全度が大きく向上し、洪水被害の軽減に大きく寄与するものと期待しています。

また、治水機能だけでなく地域振興への貢献も期待されています。今後、再生可能エネルギー活用の一環として、ダムからの放流水を利用した小水力発電を実施し、売電収入の一部をダム周辺地域の環境整備や地域イベントの開催支援などに充てることで、地域の活性化と持続的な発展を目指して取り組んでいきます。

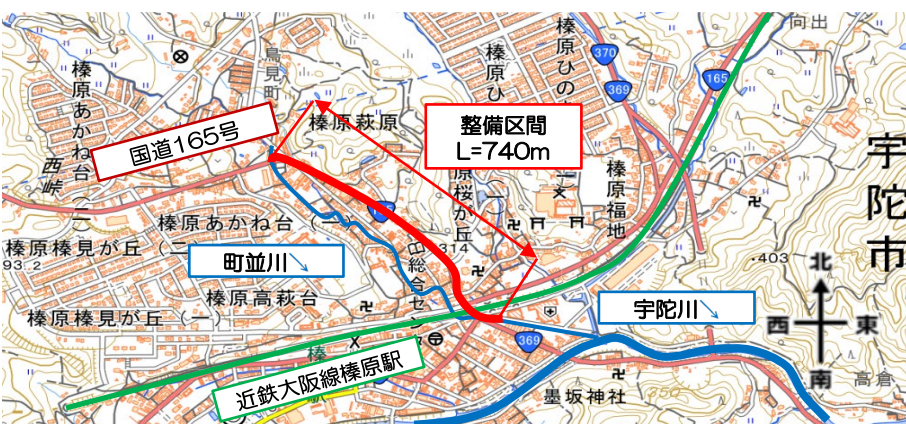
一級河川町並川で進む 【県内初】の地下バイパス河川事業

奈良県 県土マネジメント部 河川整備課

○ 河川の概要

はいばらはぎわら

町並川は、宇陀市榛原萩原の市街地北部を南下して宇陀川に注ぐ、流域面積0.90km²、流路延長1.3kmの小さな一級河川です。近鉄大阪線榛原駅の周辺には江戸～昭和初期ごろの家屋が数多く連なる密集市街地があり、その間を蛇行しながら流れます。川幅は1～5m程度と非常に狭く、急な勾配をコンクリートや石積みの護岸で固めた構造が続いています。



位置図



榛原駅周辺の石積み護岸

○ 課題：これまでの浸水被害

この地形的特徴から町並川周辺は度重なる浸水被害に悩まされてきた地域で、昭和61年から平成29年までの約30年間に6回の豪雨で深刻な浸水被害が発生しています。特に近鉄大阪線より上流側は河道断面が小さく流下能力が根本的に不足していました。

また、石積み護岸や伊勢本街道などの歴史的な町並みを残す河川改修が求められました。



浸水被害（H4年豪雨時）



町並川（通常時）



歴史ある町並み

○ 対策：県内初の「地下バイパス河川」という選択

川の幅を広げる従来の拡幅工事では、歴史的な町並みを守ることが困難でした。そこで、県内初の事例となる地下バイパス河川が採用されました。

地上の本川は立ち退きが不要な河床掘削にとどめ、地下には分流用のバイパス河川を構築することで、住民の居住環境を保全しながら、概ね10年に1回程度の確率で発生する豪雨による洪水を安全に流下させることを実現しています。

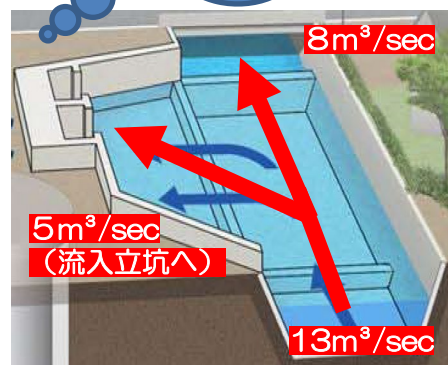
○ 仕組み：水を安全に地下へ流すメカニズム

地下バイパス河川は、主に「分流施設」「立坑」「地下バイパス河川」「放流施設」の4つの要素で構成されています。

まず、上流に設けられる「分流施設」は、川の水をスムーズに地下へ誘導する入り口の役割を果たします。ここでは、水を滞留させることで勢いを弱め、「流入立坑」へと水を導きます。また、ゴミの流入を防ぐスクリーンが設置されており、洪水時においても確実に分流できるよう、模型実験に基づいた適切な形状を採用しました。分流された水は「地下バイパス管」を通過して下流へ流れます。そして、下流の「放流施設」から町並川へ放流されます。



本川に8m³/sec、
地下バイパス河川に
5m³/sec分流させる
ことより溢水を防ぎ、
浸水被害を解消。



分流施設のイメージ

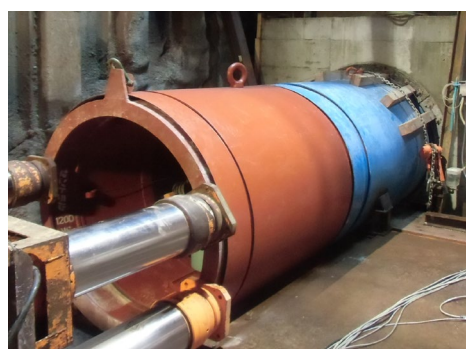
○ 工法：超硬質岩盤に挑む「CMT工法」

この地下バイパスの構築にあたり、最大の難関となるのが非常に硬い岩盤でした。岩盤は通常のコンクリートの約6倍もの強度があり、極めて困難な掘削になることが想定されました。

そこで、硬質な岩盤にも対応可能な工法が採用されました。この工法で使う掘削機は先端の刃を変えることができるため、岩盤の硬さに応じて刃を変えることで掘削を完了させました。

○ 式典の開催

本事業は、平成23年に着手してから、15年間にわたり段階的に進められてきましたが、令和8年8月に全工程が完成し、現在は大雨に備えて運用を開始しています。令和8年9月27日（日）は、奈良県・宇陀市主催による完成披露会が執り行われました。披露会には、奈良県知事、宇陀市長のほか、県選出国會議員、近畿地方整備局長、県および市議会議員、地元関係者ら合わせて40名以上が出席し、出席者からは「町並み保全と浸水被害防止を両立する素晴らしい施設ができた。治水事業に終わりはなく、引き続き住民の安全確保のため全力を尽くす。」など、感謝のお言葉やご意見をいただきました。



CMT工法による掘削の様子



テープカット

○ おわりに

この地下バイパス河川が完成し運用開始されたことで、町並川の治水安全性が大幅に向上します。大雨や台風の際にも道路の冠水などが防がれ、近隣にある医療機関への緊急搬送や指定緊急避難場所への避難がスムーズに行えるようになると期待されています。

長年にわたり大雨のたびに浸水の恐怖と隣り合わせだった榛原萩原地区において、住民の安全な暮らしと歴史ある景観を守るための、確かな後ろ盾が構築されました。

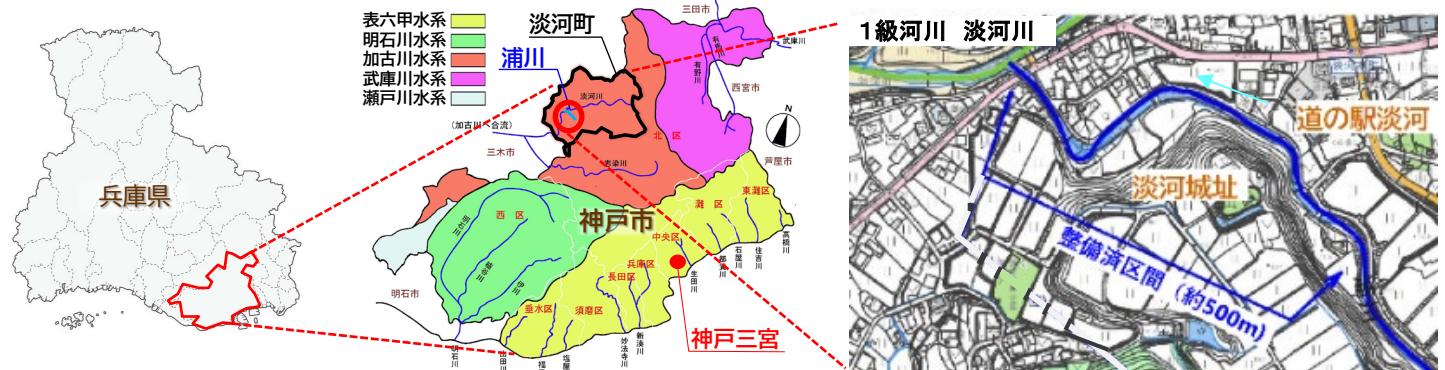
おうごちょう うらかわ
北区淡河町浦川の親水空間整備と多自然川づくり

神戸市 建設局 森林・防災部 河川課

○ 浦川と淡河町について

神戸市北区淡河町を流れる浦川は、加古川水系淡河川の支川で、流域面積4.3km²、延長1.5kmの準用河川です。

浦川が流れる淡河町は、自然豊かな農村地域で、神戸三宮の市街地から車で30分ほどの距離にありながら、豊かな自然と歴史・文化が多く残された町です。浦川では夏にはホタルも多く見られます。



○ 浦川の現状と課題

淡河川合流点から上流約500mまでの区間は、約30年前に改修が行われ、洪水に対しては安全な川になりました。一方で、コンクリート護岸の単調な河川となり、護岸傾斜がきついため川に下りられず、水遊びができるような空間は整備されていない状態です。また、落差工により魚類の遡上が阻害され、生態系が分断されてしまっているのが現状です。地域の方からは、「昔のように川で遊べる場所がないのは寂しい」といった声が聞かれます。



○ 淡河地域の拠点としての親水空間整備と多自然川づくり

浦川の整備済区間上流端付近には、右岸側に道の駅淡河、左岸側には淡河城址があります。

ここに親水空間を整備することで、地域住民や道の駅来訪者が豊かな自然に親しむ機会を創出するとともに、歴史や文化を含めた淡河地域の魅力を発信する拠点となり、地域のにぎわい創出につながると考えました。

令和8年度より、道の駅の機能強化、淡河城址の再整備とあわせて、浦川の親水空間整備事業を開始しました。下流の整備済区間においても、淡河の里山らしい川を目指し、生物多様性を回復させる川づくりを令和12年度末を目標に行っていく予定です。



浦川整備計画



浦川親水空間整備予定箇所周辺写真（令和7年12月）

○ おわりに

これからの河川整備は、治水機能の確保を前提としながらも、生物多様性への配慮や地域文化を育む河川空間の利用など、川がもつ多面的な価値を活かした整備が求められています。

浦川の整備においても、地域の皆様とともに、地域に親しまれ愛される川づくりを目指して取り組んでいきます。



親水空間整備イメージ
（※生成AIを使用して作成）

“鴨川探検！再発見！”第78弾 「鴨川の生きものの観察＆水質調査」 を開催しました！！

トピックス
Topics

京都府 河川課

令和8年7月26日（日）に、鴨川（北山大橋周辺）において、“鴨川探検！再発見！”第78弾「鴨川の生きものの観察＆水質調査」を開催しました。

“鴨川探検！再発見！”は、「京都の顔」として多くの人々に親しまれている鴨川の魅力を、自然観察会や歴史文化の学習会などを通じて改めて発見し、川への理解を深め、河川愛護や自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げてもらうことを目的として実施しています。平成16年からスタートし、小学生を対象に年に4回程度開催しています。

今回は鴨川に入って生きものの調査及び水質調査を行いました。晴天にも恵まれ、参加者からは「鴨川の中の水草の下にたくさん生き物がいると分かった」「子どもと一緒に生き物を発見する楽しみを共有できてよかった」等の感想がありました。

今年度は、秋と冬にも開催を予定しています。

開催情報等は以下HPにて発信しておりますので、是非ご参加ください！

[鴨川探検！再発見！／京都府ホームページ](#)



生きものの調査の様子

- 開催日：令和8年7月26日（日）
9:45～12:00
- 場 所：鴨川及び河川敷（北山大橋周辺）
- 参加者：小学生及び保護者等 計20名
- 講 師：NPO法人自然観察指導員京都連絡会

◆生きものの観察及び水質調査の結果◆

- ・気象条件：気温31.8℃（水温25.0℃）、晴、ほぼ無風
- ・昆虫：ヒラタカゲロウ類、ヒラタドロムシ類、コオニヤンマ幼虫、ハグロトンボ、シオカラトンボ、カゲロウ型幼虫、ナベブタムシ幼虫、ヒゲナガカワトビケラ幼虫、ウスバキトンボ、ミズスマシsp.
- ・魚等：ドンコ、ヨシノボリsp.、カワリヌマエビsp.、アメリカザリガニ幼生
- ・水質判定：Ⅱ

※赤下線はキレイな水に住む生き物



調査前に講師より生きものの等の説明



捕獲した生きものの一例



所在地	福井県今立群池田町
河川名	足羽川
目的	洪水調節
型式	重力式コンクリート
堤高/堤頂長	96m/351m
総貯水容量	2,870万m ³
本体着工・完成予定年	2020（令和2）年/2029（令和11年）
管理者	国土交通省

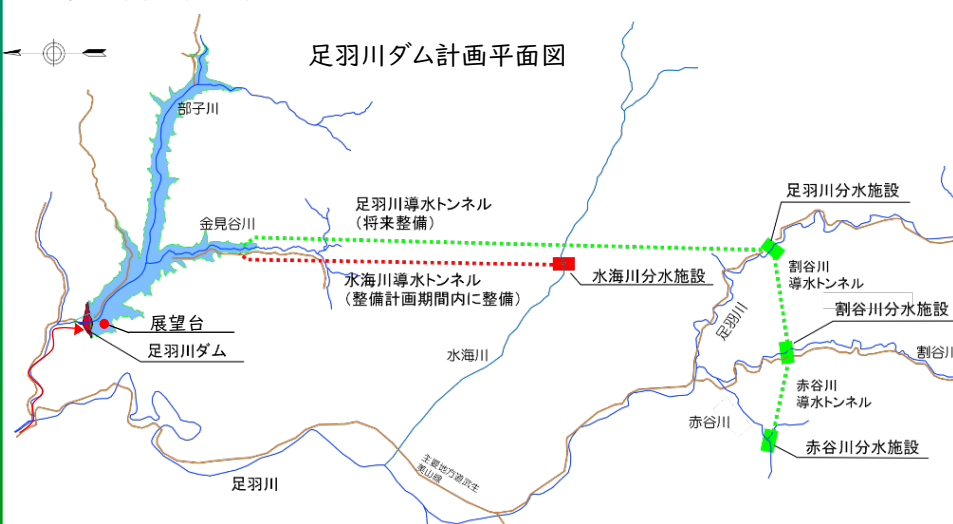


あすわがわ いまだてぐんいけだちょう 足羽川ダム（福井県今立郡池田町）

足羽川ダムは、一級河川九頭竜川水系足羽川の支川である部子川に、洪水被害の軽減等を目的として建設された日本最大級のゲート付き流水型ダムです。ダム本体の建設と並行して水海川の洪水を足羽川ダムへ導くための導水トンネルと分水堰からなる「水海川分水施設」も建設中です。

足羽川ダムのダム本体工事の進捗は、2026年8月末時点で98.8%ととなっており、工事は終盤に差し掛かっていますが、ダム本体建設工事展望台からは、今しか見ることが出来ない、迫力あるダム建設現場の様子を一望することができます。また、当事務所では広報にも力を入れており、X、You Tube、HPにて足羽川ダムに関する様々な情報を提供しております。

周辺には、日本最大級のアウトドア施設「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」や、龍双ヶ滝、かずら橋など、池田町ならではの自然・観光スポットが点在していますので、ぜひとも、現場に来ていただき、池田町の自然を体感してください。



広報ページ

X



You Tube



HP

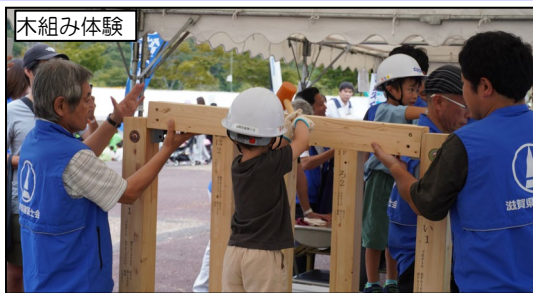


「滋賀けんせつみらいフェスタ2026」を開催します！！

建設の仕事を親子で楽しく「みて・ふれて・学べる」イベント、「滋賀けんせつみらいフェスタ2026」を開催します。ものづくりや重機の試乗など、普段できない体験が盛りだくさん！今年度はヒト型ロボット「零式人機」がやってきます！入場・体験は無料です。みなさまのご来場をお待ちしています！

滋賀県 県土整備部 技術管理課
(記事の写真は令和7年9月20日に撮影したものです。)

- 日時：令和8年10月17日（土） 10:00～15:00（雨天決行・荒天中止）
- 場所：滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン（滋賀県野洲市北桜978）
- 主催：滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会（構成団体：滋賀県、滋賀県建設産業団体連合会、国）
- アクセス：【お車の場合】名神高速道路栗東インターチェンジより国道8号を經由して約20分
【公共交通機関の場合】JR琵琶湖線 野洲駅南口より 近江鉄道バス・希望が丘西ゲート經由「花緑公園行」または「村田製作所行」で約10分



ステージ企画スケジュール

- 10:00～10:10 開会式
- 10:20～10:50 近江むかで太鼓保存会
- 11:10～12:10 表彰式（作文・フォトコンテスト、建退共、若手・女性技術者県土整備部長）
- 12:30～12:40 推し重機総選挙 中間発表

- 12:40～12:50 滋賀のキャラクター紹介
- 13:10～13:40 シンケンダー手話歌ステージ
- 14:00～14:30 甲西高校吹奏楽部
- 14:45～14:55 推し重機総選挙 最終発表
- 14:55～15:00 閉会式

★キッチンカーの出店あり！きぐるみも登場予定！

★emRiver（エムリバー：河川地形変動模型）ブースを出展！

滋賀県流域政策局では、流水による地形変化の原理を体験していただける**emRiverブース**を出展します！昨年度も子どもたちや保護者の方々に大変好評で、身近なインフラ施設である堤防やダム の目的や効果を学んでいただけます。このほか、砂防施設模型の実演も行います！近畿に4台しかないemRiverをみなさまもぜひ体験してみてください！



■編集後記

かわの情報誌「さらさ」2026年秋号（第135号）の編集を担当いたしました和歌山県です。今回の特集では、各地域における河川整備の取組を通じて、先人たちが積み重ねてきた長年の努力や、地域の歴史とともに歩んできた河川の姿を感じることができました。

また、それぞれの記事からは、地域ごとの特色や河川整備の背景にある様々な思いを知ることができ、改めて河川事業の重要性を認識する機会となりました。

今回の特集テーマにもありますように、「さらさ」が河川に関する情報共有や交流の場として、これまで、そしてこれからも皆さまに活用していただければ幸いです。

編集担当：和歌山県 河川下水道局 河川課